

『社会で強く生きぬく子どもの育成』

第018号

もっと未来へ わくわくする未来へ歩みだそう

令和8年1月9日

学校だより『ふこの』

大東市立深野小学校

校長 世尾 秀和

◆3学期がスタートしました

1月8日(木)に3学期始業式を行いました。冬休みは楽しく、元気に過ごせたでしょうか。子どもたちにとって、よいリフレッシュの期間になつていれば幸いです。

始業式でも子どもたちに話をしましたが、3学期は学年として最後の学期です。もっと頑張っておけばよかったなど、後悔する事がないように、以下の3つのことを伝えました。

① 今やるべきことは、先に延ばさず、今やる

② 時間を大切にする

③ 集中するときにはしっかり集中する

あっという間に日々が過ぎていく3学期です。やるべきことを後回しにすると、どんどんやることがたまってしまいます。今やるべきことは、今やろうという気持ちをもつことがまずは大切です。「できる、できないではなく、やるか、やらないか」です。

子どもたちには結果を恐れず、できなかつたらどうしようと悩んだりせず、何事にもチャレンジし、今やるべきことは今やるという強い気持ちをもつて3学期臨んでほしいです。

そして、あっという間に過ぎていく学期だからこそ、時間を大切にしてもらいたいと思います。その第一歩はやはり、「早寝、早起き」です。規則正しい生活をすることで、心身が整い、何事にも挑戦するエネルギーが沸いてきます。SNSやゲームなどの時間もしっかりと制限を設けて、時間を大切に使ってほしいと思います。

最後に、集中するときにはしっかり集中するように指導していきます。集中力はずっと続くわけではありません。だからこそ、メリハリのある学校生活を送る意味でも、今は集中するときだというスイッチがしっかりと状況をみて、自ら判断できるように導きたいと思っています。この3つのことはお家で過ごす中でも大切なことだと考えますので、一緒に子どもたちを導いていただければ幸いです。

2026年もよろしくお願ひいたします。



◆学校アンケートについて（回答締切 1月16日）

毎年行っております「学校アンケート」のご案内を学校だよりとは別に保護者の皆さんに本日ご案内させていただきました。学校運営において、保護者の皆さまのアンケートは貴重であり、来年度の学校運営の参考ともなります。3分程度で完了するアンケートとなりますのでご協力をお願いいたします。

前号の学校だよりでもお知らせしましたが、前回アンケートも含め、回収できた件数が少なく、できれば多くの方からの回答をいただきたく、今回はスマートフォン等でも回答できるように改善したデジタル回答形式となっております。ご案内内容を確認後、ご回答いただけますよう、重ねてお願ひいたします。

◆長期休業明けの対応について

冬休みは期間が短いものの、子どもたちにとっては長期休業明けの登校などは不安や悩みも少なからずあるものです。当校でも校内の教育相談体制として、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや関係機関の協力をもって子どもたちや保護者の皆さまの不安や悩みを少しでも解決できればと考えております。

各ご家庭におきましてもお子さまを見守っていただき、休業明けの変化等がないかご確認いただければと思います。以下に文部科学省からの案内にもありました相談窓口をご紹介いたします。また、学校ホームページにも相談窓口一覧を添付しておりますのでご覧ください。

3学期も子どもたちが安心して登校できるよう、保護者の皆さま、地域の方、関係機関等と連携の上、学校運営を行いたいと思います。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

○子どもの SOS の相談窓口

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



【お願い】

昨年もご案内しておりますが、卒業式の服装について、すでにご検討もされたかと思いますが、卒業生の服装についての改めてのお願いとなります。昨年度の卒業式でもご配意のうえでの出席をしていただき、皆さんのご理解に感謝しております。卒業というおめでたい日に羽織袴等を着て出席させたいというご家庭もあるかもしれません、着慣れない服装での式への出席は緊張を高め、体調に影響がでることなども心配します。

卒業式も6年生にとっては教育的意義のある行事であり、厳粛で清新な気分を味わい、行事を節目として希望や意欲をもってこれからの生活に臨もうとする態度を養う場でもありますので、服装への関心がエスカレートすることなども含め、中学校の制服やそれに準じたものなどにしていただき、華美にならないようにご配意いただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。